石屋工務店 かわら版

第152号

H28年11月9日発行

石屋工務店 TEL 075 492-1483（シックニ イシヤサン）

京都市北区大宮薬師山東町 47－5　建設業／京都府知事(般-25)第 31625 号　インテリアコーディネーター登録店

粋人 石屋の多趣味人生 その128

氷見へ

先月半ば、氷見へ一泊のツーリングへ行ってきました。いつもは気軽な一人旅ですが、今回は9名での大所帯です。言い出しっぺの私が全ての段取りを取る事といたしまして、まず行先の選定からしました。今回はバイク4台と車1台で移動します。バイクの方は私以外皆初心者の為、あまり無理をせず気楽に行ける距離を考えました。途中観光も入れたいし、予算もあまりかけたくないと考え、意外と穴場な富山県氷見市へ決定しました。以前も2度程行った事があり、魚が美味しいのと景色が良いのでお勧めの場所です。氷見は寒ブリで有名です。ただ時期的にまだ早いのですが富山湾で取れた魚は絶品です。お宿の選定は食事が美味しい事は一番ですが、今回は露天風呂にも凝りました。海沿いで露天風呂のある民宿です。風呂は富山湾に面しその向こうに立山連峰が屏風のように見えます。位置的にその立山連峰から朝日が昇ってきます。朝早く起きて風呂につかりながら、朝焼けの空からご来光を眺めるのは格別です。朝ごはんも目一杯食べて出発しました。

今回のツーリングの距離は往復で750km程。普通に1日で走れる距離ではありますがみんなで行ったついでに観光もしたく、地図を見てますと氷見からそのまま南に下りると白川郷があります。私自身も前から一度行ってみたいと思っていた場所なので帰りは寄ってみました。界世界遺産に登録されてからは観光客、特に外国人の方が多いのにはびっくりしました。古い民家の中も入らせていただき昔の人の知恵に改めて感心致しました。白川郷の家は現在の基準で行きますと平屋なんです。今風で言いますと平屋の中にロフトがあり、そのロフトが4層になっていると言う独特の造りになります。2階3階は蚕の部屋。その為の熱の通し方等考えてありますが、昔は寒かったろうなと思える造りです。

おっさん9人の珍道中はこれと言ってトラブルも無く無事帰って来ることができました。天気も良く、秋の日を満喫できた2日間でした。

石屋　紀次

財布

先日誕生日を迎え、子どもたちと恒例のご飯を食べに行きました。大概私が支払うのですが、今回は奥さんが「自分の誕生日に自分で払うことほど馬鹿らしいことはないでしょう」と言って、ご馳走になりました。遠くに住む息子夫婦や姪っ子まで「おめでとう」と電話や、孫のムービーを送ってもらいました。ちょっと嬉しかった。そんな中、誕生日のお祝いと言うことで奥さんが、ちょっと年季が入りかけていた財布を見てか、プレゼントして貰い有り難く頂戴しました。いつも同じタイプの財布ですが、使い勝手が良いので気に入っています。そしたら、横に同じような箱と包装紙が…よくよく見ると息子まで新しい財布を貰っています。息子の誕生日は4月なのに。聞くとそちらも痛んでいたからということですが、なんか、ちょっと考えてしまった。息子には私のお古でよかったのではないかな?と。

石坂　晴夫

「羊羹」について

先日、鳥取で大きな地震があり、非常事態の備えを改めて考えました。なので、その非常食となる羊羹についていくつか述べようと思います。羊羹とは一般的に小豆餡を寒天で固めた和菓子です。写真のようなイメージが多いでしょう。羊羹はもともと中国の料理で羊の肉を煮たスープです。スープは飲み物ですが、このスープが冷めると肉のゼラチンによって固まります。

この煮こごりを食べるわけですが、日本ではなんやかんやあって、羊肉の代わりに小豆を用いることになりました。栄養面では穀物が主体なので炭水化物・カロリーが高いです。また、糖度が高いので真空パックなどの包装方法との組み合わせで長期保存が可能です。また、適度に水分があり、寒天はのどごしがよいので、カップラーメンやカンパンと違って食べるために多くの水分を必要としません。しかし、炭水化物が多く、砂糖も含まれているため、よく噛むことに越したことはないかと思います。羊羹はよう噛んで食べなさい。というのは思いのほか的を射ていますね。

古野　充宏

家族旅行

週末を利用して、三重県にあるアクアイグニスに行って来ました。こちらの施設は昨年末に一度行ってよかったので、2度目の訪問です。今回の宿泊は宿泊棟とは別の、「離れ」と言う棟に泊まりました。こちらは、それぞれデザインが異なる棟が4棟あり、その中の「杉」と言う棟を選択しました。楽しみにしていたのは、お部屋のテラスにある露天風呂で、お天気にも恵まれゆったり入る事が出来ました。夜にはお風呂の廻りに、小さなキャンドルを沢山並べてもらえるので、幻想的な雰囲気の中で入るお風呂は旅行ならではの楽しみ方でした。お部屋の中には天井から吊るすタイプの椅子が4つあり、一緒に行った娘とブラブラと揺られながら、いろいろな話も出来ました。素敵な空間の中でしたので、テレビも設置してありましたが、家族の誰も見たいと言う気が起こりませんでした。美味しいお酒とお料理とで、満足のいく旅となりました。

山本　夕起子

中国旅行

家族と上海・杭州へ行ってきました。海外へ行くのは高校の研修旅行以来6年ぶり。今回はツアーではなかったので、前回は感じなかった外国での苦労もありました。思った以上に英語が通じないので、食べ物を注文するにも、ホテルにチェックインするにも大変でした。そして今回驚いたのはセキュリティーが厳しいことです。電車や地下鉄に乗るにも荷物検査や身体検査があり、チケットを買うにもパスポートが必要だったりします。人も多いのでチケットをゲットするにも一苦労です。自分が外国人の立場になってみると、京都も観光都市にも関わらず不便なところがまだまだあるだろうなと思ったり、ちょっと視野が広がった旅行でした。最近は家族みんなでいる時間も少なくなったので、家族旅行もこれが最後かなと思いつつ…貴重な思い出ができてよかったです。

（写真は世界2位の高さを誇る上海タワーと展望台からの景色です）

中西　恵梨